

「創立51周年を充実させるために」

令和5年度がスタートしました。昨年度はたくさんの方々と50周年という節目をお祝いすることができました。関係各位の皆様、ご理解とご協力ありがとうございました。

さて、50周年が終わったからと言って、学び合いが止まるわけではありません。むしろ50年間の財産を活用しながら学習活動をより充実させていく51年目にしなければなりません。3年間のコロナ禍において、やはり、対面に勝る学び合いは無いことを痛感しました。児童は、バーチャルではない、直接人と触れ合うことで多くのことを学びます。ICTを活用しながらも、思考力・表現力・判断力を育成することを最優先の目標とし、西伊興小学校の教育を進めてまいります。

様々な取り組みの中で、次の3点について、挨拶として述べさせていただきます。

① 主体的で対話的な深い学び合い

人間がAIに勝てる能力として、人が抱く気持ちや考えを分析したり、未知のことに対して新たなものを創造したりする力があります。これからの世界を生き抜いていくためには、人間として秀でた力を育成していかなければなりません。その力の一つが思考力や表現力となります。

また、今後さらにグローバル化が進むことは間違いないことを考えると、日本だけでなく世界をもっと広く俯瞰できる力も必要となります。より広い視野で物事を捉えるためにも、主体的で対話的な深い学び合いを継続していきます。

② 相手の気持ちを考えた言動

絆を深めたり、助け合ったり、協力し合ったりできるのが人間ですが、人に迷惑をかけても何も感じず犯罪を起こしてしまう事件が増えています。義務教育の間に、自分の考えを言葉で表したり行動で示したりする力を身に付け、家庭や地域と連携しながら相手の気持ちを想像した言動ができる人間づくりを行っていきます。

③ 病気に負けない元気な身体づくり

この3年間の様々な体験不足で明らかに体力が低下しています。人間はそもそも元気に人生を送ることが一番の目標です。元気な身体がなければ学ぶこと自体ができません。次年度は校内研究を体育科学習で行い、土曜授業では体育科学習を公開していきます。保護者や地域の方々と運動の重要性を共通理解しながら児童の体力向上を目指します。